

道路の除雪に協力してください！

今年も間もなく雪の降る季節を迎えます。市では、道路交通の確保を優先するため、幹線道路や通学路などをあらかじめ除雪路線と定め、積雪が15センチメートル以上になると早朝から除雪作業を行います。除雪作業をスムーズに行うために、次のことに協力してください。

■生活道路や家周辺の除雪

除雪路線以外の生活道路や家周辺は、地域、近隣の皆さんで協力して除雪してください。

■道路への排雪禁止

家周辺の雪を道路に捨てると、交通の妨げとなり危険です。道路に雪を捨てないでください。

また、屋根の雪下ろしも道路交通の妨げにならないよう行ってください。



■路上駐車禁止



路上駐車は除雪作業の妨げとなりますので、絶対にしないでください。路上駐車がある場合、車両を傷付ける危険性が高いため、その路線の除雪ができなくなります。さらに除雪作業が遅れる原因となり、皆さんの迷惑になります。また、道路側に置かれている植木鉢やごみ箱、看板などは、除雪作業で破損する恐れ

がありますので、撤去してください。

■目印ポールなどの設置

ごみステーションなど路上から撤去したり移動できないものは、積雪時にも位置が分かるよう、目印となるポールや看板などを設置してください。

■排雪場所(豊岡地域のみ)

- 雪は、必ず次の2カ所に捨ててください。
- ①豊岡健康福祉センター付近「あやめ橋付近排雪場」(4トン車までの小型車のみ)
 - ②堀川橋東詰付近「六方排水機場前河川敷排雪場」

皆さんの協力をお願いします

除雪作業Q&A

- Q** 除雪にはどのくらいの費用が掛かっているの？
- A** 昨年度の除雪作業費用は、約2億1千万円でした。市が1日で除雪作業を行う距離は、約740キロメー

トルで、これは豊岡市から岩手県花巻市までの直線距離に相当します。これほど長大な除雪路線を、市と委託業者の除雪機械約160台で対応しています。



Q 除雪作業を行う条件は？

A 市では、毎年12月1日から3月31日までを除雪期間と定めています。積雪が15センチメートル以上になると除雪作業を開始し、一部の地域を除き、おおむね午前8時30分までに作業を終えるようにしています。

Q 除雪作業が遅れることがありますか？

A なるべく早く除雪作業を終えるよう努めています。市内各地の積雪の状況や路上駐車などの影響で、やむを得ず遅れる場合があります。

また、断続的に雪が降っている場合は、再度の除雪

が必要となるなど、想定外の事態に対応することがありますので、理解をお願いします。

Q 道路除雪によって家の前に雪の塊が...

A 迷惑をお掛けする場合がありますが、道路の交通確保を最優先に除雪作業を行っていますので、理解と協力をお願いします。



※除雪作業に関する問合せは、各区長さんを通じてお願いします。

《問合せ》

建設課 ☎23-11115 または各支所地域振興係
《国道・県道の除雪に関する問合せ》
但馬県民局豊岡土木事務所
道路第2課 ☎26-3753

12月3日から9日は「障害者週間」です

障害者週間とは

「障害者週間」は、障害のある方の福祉について、国民の関心と理解を深めるとともに、障害のある方が社会、経済、文化その他あらゆる分野の活動に積極的に参加する意欲を高めることを目的としています。平成16年に障害者基本法で従来の障害者の日(12月9日)に代わり、設けられました。

▽期間 12月3日～9日

この期間を中心に国、地方公共団体、関係団体などが、毎年さまざまな意識啓発に取り組みます。

本市でも、行政・関係団体などが障害者週間に合わせて、イベントや啓発活動を行っています。

こういった普及啓発活動の成果として、制度やサービスが広まり、本市でも障害者福祉の支援体制が徐々に整いつつあります。一方、複雑・多様化する障害者、家族、サービス提供者が抱える課題・ニーズも増えてきています。

地域課題に取り組み

障害者自立支援協議会

本市では、地域での障害福祉に関係する方が連携して、

課題や支援体制などの協議を行うため、豊岡市障害者自立支援協議会を設置しました(平成22年)。

協議会は全体会議と運営会議で構成され、相談支援事業者、障害福祉サービス事業者、関係行政職員などを中心に活動しています。全体会議は年2回、運営会議は原則月1回行っています。運営会議では地域の課題やニーズ別にグループを編成し、課題の分析、検討などを行っています。今年度は「普及啓発グループ」「子どもグループ」「地域移行グループ」の四つのグループに分かれ、誰もが支え合う住みよいまちづくりを目指して活動しています。

<p>普及啓発グループ</p> <p>人を育て学び広める</p> <p>発達障害者支援者研修会の開催 ラジオ FM ジャングルでの啓発 広報掲載 自立支援協議会便りの発行</p>	<p>就労グループ</p> <p>障害者の就労を応援</p> <p>課題の抽出と解決方法の検証 就労支援者の研修会開催 支援連携のための会議開催</p>
<p>地域移行グループ</p> <p>地域で当たり前 暮らすために</p> <p>社会的入院の精神障害者が地域に戻るための支援施策の検討 当事者を支える保健・医療・福祉の連携 市民向け啓発事業(映画上映会開催の協力)</p>	<p>子どもグループ</p> <p>(支援を求める) 子どもを守る</p> <p>福祉サービスの充実にむけて検討 サービス・相談窓口案内パンフレットの作成</p>

《問合せ》豊岡市障害者自立支援協議会
(社会福祉課障害福祉係内)
☎24-7033

障害者週間事業

『ええからいっぺん相談してみんせえなあ
～こころとからだの悩み相談会～』

とき 12月12日(木)午後1時～5時
ところ 総合健康ゾーン健康福祉施設(立野町)
対象 市民、市内に通学・通勤している方
相談料 無料
定員 15組程度 ※事前申込み必要
申込み・問合せ 社会福祉課障害福祉係
☎24-7033



▲昨年度「防災グループ」が作成した災害時安心ファイル

もつたいない川柳
応募作品紹介
(氏名またはペンネーム・敬称略)

◆一般の部

ありがとう一緒に暮らすものたちへ (指野友里子)
断捨離と綱引きをする勿体ない (佐竹艶)
お茶漬けは一粒たりと逃がさんぞ (佐竹幸夫)
そんなにも必要ですか? 買い置きは (佐藤千恵子)
捨てるなら恵みに感謝愛の手口癖はもつたいないが母の常 (沢田正司)
増税ももつたいないで乗り切ろう (亮月)
オンとオフうまく使ってエコライフ (榎田賢治)
妻に言う愛の言葉がもつたいない (鳥立隆男)

◆高校生以下の部

もつたいない段々みんな口ぐせに (苦田理瑚)
母から子つなぐ思い出物ととも (みーくん)
皿洗い水出たままじゃお金減る (中島有紀)
いりませんそのひとことエピソード (中田若那)